

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 被災地復興支援定期貯金「希望」 **JA名** JAしらかわ(福島県)

1 動機 (経緯)	平成23年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震は、東北地方を中心とした各地に甚大な被害をもたらしました。 現在も、被災地では、住居を失われた方や原発周辺住民の方々の困難な避難生活が続いています。 このような状況の中で、当JAが微力でも何かできることはないかと考え、被災地復興定期貯金「希望」を発売することといたしました。
2 概要	<被災地復興支援定期貯金「希望」> お客様からお預かりした貯金残高の0.1%相当額を当JAが負担し、被災地の復興事業の財源として福島県へ寄付するものです。
3 成果 (効果)	当JAの趣旨に多くのお客様が賛同していただき、約17億2千3百万円もの定期貯金をお預かりすることができ、福島県に172万3千円の寄付金を贈呈いたしました。
4 今後の 予定(課題)	本定期貯金の募集は終了いたしました。利息の一部を県内の除染活動事業を展開する団体へ寄付する、JAエコ定期貯金「エコ・スマイル」の取組(JAバンク福島として展開)を通じて、継続した被災地支援を行っていきたいと考えています。

<被災地復興支援定期貯金「希望」 商品概要>

対象商品	定期貯金	募集期間	平成23年4月4日～8月31日
対象者	個人および法人	契約金額	10万円以上(1円単位)
契約期間	1年(元利金自動継続)	適用金利	0.4%
対象となる資金	新規お預け入れの貯金、共済満期金、定期積金満期金からの振替 (普通貯金や既に申込みいただいている定期貯金からの振替は対象になりません)		
寄附金額	本定期貯金残高の0.1%相当額	寄附	福島県(寄附金は県の復興事業の財源として活用されます)

